

新型コロナを防ごう！ 真生工業が多久市にマスクを寄贈

5/22[Fri]



▲マスクの寄贈に市役所に訪れた中島代表取締役と横尾市長

真生工業株式会社（多久町）から多久市へマスク3万枚を寄贈していただきました。

市役所でマスクを贈られた中島功代表取締役社長は「私たちの仕事は地元のみなさんの理解と協力の上で成り立っている。少しでもみなさんの役に立てれば」と話されました。

マスクを受け取った横尾俊彦市長は「市場にマスクが少しずつ出てきたものの、まだまだ充分とは言えない状況。有効に活用させていただきたい」と感謝の言葉を話しました。

寄贈していただいたマスクは、感染予防対策として難病患者や70歳以上の人に配布を行いました。

植樹への思いを色鮮やかに表現 県内唯一の入賞に松瀬さん

5/31[Sun]

「令和2年用 国土緑化運動・育樹運動ポスターコンクール」（主催：公益社団法人国土緑化推進機構）で、東多久町の松瀬玄弥さんが入選（国土緑化推進機構理事長賞）を果たしました。

応募当時は、東原庫舎東部校9年生だった松瀬さん。全国から寄せられた10,137点（中学校の部）の中から見事選出され「植樹をする子どもと、そばの大木に思いを馳せながら、その様子を見守る父親を描きました。木を大きく育て、緑を増やしていく助けになれば嬉しいです」と思いを語りました。

松瀬さんは現在、県立佐賀北高校で芸術科を専攻し、美術部でも活動中。今後もコンクールなどへ挑戦し、さらなる高みを目指していきます。



▲賞状を手に笑顔の松瀬さん



▲入選に輝いた作品

多久高校生が市内公共施設で清掃や除菌のボランティア活動

6/16[Tue]



▲多久北部運動広場で清掃活動を行う多久高校の生徒たち

多久高校の2年生が授業の一環で、多久北部運動広場や市立図書館、児童センターあじさい、北多久社会体育館の清掃や除菌作業など、ボランティア活動を行いました。

ボランティアには、生徒119名が参加。日中の暑い中、全員で協力しながら施設周辺の草刈りや施設の備品などの除菌を行いました。

参加した生徒は「とても暑くて大変だったけど、みんな楽しく作業できてよかった。こういう時期だからこそ、何事にも前向きに取り組んでいくべきだと思う」と笑顔で話しました。